

VI各支部の活動報告

各支部・連絡所では、会員の皆様がボランティアとして、それぞれの地域で出来る限りの動物救援活動を展開しました。施行に入った改正・動物の愛護及び管理に関する法律の普及・啓発活動を、各地域で催された動物愛護週間行事への参画を通じて活発に推進すると共に、飼育管理相談、新しい飼い主探し、不妊・去勢手術の助成金支給などの活動を続けています。ここに皆様の活動の姿をお伝え致します。

支部・連絡所名	支部長
北海道	川口谷 正
栃木	川崎亜希子
新東京	井上留美
横浜	古川直季
相模	佐藤洋文
南大阪	山移千鶴
阪神	恵子・レファート
徳島	福山 守
三重連絡所	山口順子 (所長)

北海道支部 Hokkaido Branch



原油先物価格の急騰やそれに伴う諸物価の高騰という経済状況ではありますが、北海道では動物愛護条例とそれに伴う推進計画策定などもあり、人々の動物飼育への意欲は高まりつつあるように見えます。以下、07年度の活動状況を報告させていただきます。

◎動物飼育の傾向

北海道の人口は他の自治体と同様に少子・高齢化のますますの進行により、子どもの減少と高齢者の増加が顕著になっています。97年度の子どもの数は84万4千人、高齢者は93万3千人でしたが、06年度には子どもが17%減の70万3千人、高齢者が34%増の124万8千人となっています。そして、この人口動態は動物飼育数との関連で、一定の相関関係にあるように思われます。

それは、主に都市部で顕著で子どもの減少に反比例し、高齢者数に比例するように動物飼育数が増加しています。例えば、札幌市ではこの10年間で子ども数は3万人減少し高齢者は11万2千人増加、「犬の登録頭数」は過去10年間で約3万1千頭増加し、比例して狂犬病予防注射数も増えています。ペットブームと核家族化とともに癒しの対象や健康とのかかわ

りで、今後、飼育動物増加の傾向は止まらないと思われれます。ただし、登録や狂犬病予防注射が増加した要因は、フィリピンで被害にあった日本人が狂犬



2007年5月～10月
札幌市の小動物飼い主探しでは、犬25匹中24匹、子猫384匹中265匹の飼い主が見つかりました。

病死したことなどを考慮しなければならないかもしれません。少子高齢化の進行は今後ますます小動物の飼育増加という傾向に拍車をかけることになると思われ、それだけに動物の飼い方についての社会的啓蒙の必要性が強まっているといえます。

◎苦情・相談状況と虐待事件

最も多い相談は犬の汚物処理の件で約30件、野良猫対策5件、捨て猫5件、譲渡3件などが主なものです。汚物問題は冬期間雪に埋もれていたものが、融雪とともに露出するという本道特有のもので、飼い主のモラル自覚に俟つかありません。大方の飼い主は適正に処理されていることを考えますと、「地域で息の長い啓発が必要」なことを痛感させられ、相談者にはその旨対応をお願いしています。野良猫対策は各自自治体とも決め手に欠けるのが現状で、猫は捕獲も困難なことから、「安易な餌付けはしない」ことをお願いしています。譲渡については、各自自治体の譲渡事業を活用するよう紹介しています。

虐待事件は、07年6月以降苫小牧市で続発した、犬の食いによるけいれん・猫頭部切断2件のほか、胆振支庁管内で06年7月以降犬猫の切断、放置事件8件、また8月に稚内東中で生後3週間の猫頭部切断放置事件などが起きましたが、いずれも未解決です。

◎行政の取り組み

道は、昨年「動物愛護管理推進計画（仮称）案」を策定し道民からの意見募集を行ったところ、132名延べ1168件の意見が寄せられました。この1月末の集計では「意見を採り入れ修正したもの16件」「案と同趣旨のもの48件」「参考意見49件」「不採用130件」などに整理されました。この推進計画の特徴は愛護条例を具体化する「愛護センター設置」などの施策が盛り込まれており、今後、本道での動物愛護活動の促進が期待されることです。

(支部長 川口谷 正)



◎相談活動

会員が日常的に地域ねこ活動のアドバイスをを行い、新しい飼い主探しの相談などにも応じています。不適切な動物取扱業者(ペットショップやブリーダー)や不適切な飼育をしている飼い主などの通報や相談は、行政などにも動いてもらっています。

◎不妊・去勢手術の推進と新しい飼い主探し

今年度の不妊・去勢実績 総計：110匹

犬		猫	
オス	メス	オス	メス
3	10	35	62

不妊・去勢手術の助成については、新しい飼い主になっていただいた方には基本的に自身でご負担いただき、助成対象は地域ねこ活動や、会員が保護した犬やねこが中心です。

また、不適切な飼育をしている飼い主へは啓発の意味を込めて助成金を適用しております。

新しい飼い主探しは、インターネットや新聞の媒体が多く、10歳を超える老犬にも温かい家庭が見つかるようなこともあり、人の温かさ感謝しています。

新しい飼い主探し実績 合計 56匹

犬	14
猫	42
合計	56

◎動物愛護推進員による相談

市の広報などで告知し、毎月20日は「アニマルの日」として、当協会栃木支部・副支部長であり、宇都宮市の動物愛護推進員でもある佐藤朝子獣医師が宇都宮市八幡山公園で市民の相談に応じています。

◎県の動物愛護週間の行事に参加

栃木県の動物愛護フェスティバルに参加し、署名活動や来場者への相談に応じました。

◎宇都宮市保健所主催「ねこの困りごと相談会」

3月16日(日)に行われた宇都宮保健所主催のねこの困りごと相談会への協力依頼が支部にあり、佐藤朝子先生が講師として、ねこの習性や、地域ねこ活動の取り組みなどについて講

演しました。市の広報を中心に地味な告知だったのですが、予想を超え定員を上回る人が来場し、ねこに困っている人、地域ねこ活動を進めたい人、えさをやっているけれどその先はどうしたら良いのか途方にくれている人、飼っている人からのねこの飼い方など、それぞれの立場からの質問がありました。来場者同士の議論がエキサイトするような場面もあり、市民の関心の深さが窺えました。地域ねこ化する手法の質問に応じたり、ねこに困っている人へ対策の紹介をしたり、個別相談に会員も活躍しました。

後日、この相談会がきっかけで、捕獲器を貸し出したり、実際に捕獲のお手伝いを行ったり、既に生まれた子ねこの保護など、会員がお手伝いに出向いて地域ねこ活動が始まった現場も数箇所あり、宇都宮保健所からも、今後もこういった試みを継続させていきたいとのお話をいただきました。

ネット環境や情報収集しやすい環境にない年配の人が、餌えたねこを見るに見かねてえさをあげているけれど、ねこを捕まえることもできず、近所への気兼ねなどもあったりして、途方にくれていることも改めて実感しました。地元新聞社が地域ねこ対策を支部に取材して掲載した際には、動物愛護指導センターにも問い合わせがかなりあったようで、多方面から情報を伝える必要性を感じています。

◎シェルター建設と運営

ダム予定地に置き去りにされたねこへのご支援、この場を借りて深く感謝いたします。

ダム予定地でねこたちのお世話を続けていましたが、ダム建設開始に伴い、ねこたちをどうするか、メンバーで話し合いました。幸い、ログハウスのコンテスト入賞歴を持ち、県内でも有名なログハウスを建てた実力のある仕事をしている会員が、自分の保護した犬やねこのシェルターとして既に使っているログハウスを一部貸して下さることになりました。

シェルターにはダム予定地に置き去りにされたねこ40匹近くの多くが、前代表の寺内さんを中心とする会員の尽力の下、山の中のダム予定地からログハウスのシェルターに移動し、週3回メンバーがシェルターにお世話に通っています。

たくさんのねこのお世話に追われている時は、人にべったりのねこには寂しい思いをさせています。一時の気まぐれでも自分を愛して可愛がってもらった経験がある子は、裏切られても人の愛情をずっと忘れません。一生懸命、人のそばにきて気が



ついてもらい、少しでもなでてもらえるのを待っています。こんな人懐っこい老ねこを置き去りにしていった人には怒りを通り越して、あきれてしまいます。

ドライフードは約10キロが2日間で消費され、餌えた経験のある子が多いのでお腹を空かせるのだけは可哀想だと、何とかやりくりを続けています。

引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。

(支部長 川崎亜希子)



新東京支部

Shin-Tokyo Branch



今年度は発足年度である昨年を越える成果をあげられることができ、ご支援いただきました皆様の愛情と努力に感謝申し上げます。なかでも貴重な経験としてご報告させていただくのが、犬の譲渡実績です。当支部があるヤマザキ学園では、教育の一環でトレーニング研修を学外施設を利用し実施していますが、この年頭に突然の施設閉鎖に見舞われました。一番の心配は当該施設で飼育されていた11頭の大型犬です。そこで急遽、当支部が全頭を譲り受けることを決め、学校側と協力し、校内での一時預かりと譲渡支援へと踏み切りました。

ヤマザキ学園では動物福祉の観点から、授業で使用する犬

は飼育していません。これはコンパニオンアニマル(伴侶動物)である犬は、愛情が溢れている家庭で飼われるのが本来の姿であるとの考えからです。授業で使用する犬は、この教育方針に賛同を得ている一般家庭の飼い主様とご愛犬に、多大なるご協力をいただいています。

さて学生と教職員とで協力奮闘した飼育管理と譲渡活動は見事に実を結び、今は全頭が新しい家庭で、家族の一員として幸せに暮らしています。今回は、新たに飼い主となってくれた、学生会員へのインタビュー記事をもちましてご報告に代えさせていただきます。(支部長 井上留美)

Q 新しい飼い主になろうと思ったのはなぜですか？ 犬との生活について教えてください。

●手串有佳里さん&トミー

元々大型犬が好きで、特にゴールデンが大好きでした。家では中型犬を飼っていたのですが、新しい飼い主募集を知った瞬間に引き取りたいと思い、すぐに親に相談しました。

トミーは「クールトミー」と呼ばれる程落ち着いたクールな子...という印象がありましたが、本当はとっても甘えん坊下子！名前を呼んでもらう度に尻尾がブンブン。そして何よりボールが大好きです。時間がある時はすぐ近くの公園に行って、先住犬ソフィーと広場でボール遊びをしています。

ソフィーとトミー。名前が似ていて、最近では二匹まとめてトフィーと呼んでいます(笑) 2匹ともとても仲良しです。手

串家に来て、トミーは幸せだねとたくさんの方に言って頂きました。みんなトミーを大歓迎で、家の中の雰囲気もますます良くなりました。トミーは幸せを運んで来てくれる子だなあと感じています。



●渡邊直樹さん&ジーマ



施設にいた犬達が学校に来ていると聞いて、真っ先に見に行きました。そして無性に何かやってあげたいと思い、昼休みと放課後に世話のお手伝いをさせていただきました。もっと、何かしてあげたいと思い、親を説得し、必要な物を揃えたり、自分なりに犬について知識をつけたりと様々な障害をクリアして、思い切って新しい飼い主に立候補しました。私の家の周辺は比較的自然が多く、近くに大きな公園もあり、犬にとっ

ても最高の環境だと思いました。でも、一番の理由は犬が大好きで、一緒に暮らしたかったからです。

生活はガラッと変わりました。常に生活の中心にジーマがいて、朝早く起きなくてはいけないし、夜も定時の時間に散歩。自分の生活にも大分制限がかかっています。それでも、疲れて帰ってきても、ジーマがいるだけで、疲れなど吹っ飛ばし、とても楽しい日々を送っています。

ジーマはとても大人しい性格なので、散歩に行く公園でも大人気です。

散歩中に子供達が近寄ってきて、なでてもらったりすると、とても嬉しそうにしています。

◎ペット・ハッピーホーム・プログラム(譲渡活動)実績

イヌ	38
ネコ	36
モルモット	1
ハムスター	11
飼鳥	10
合計	96



譲渡犬と新しい飼い主さん、支部役員とともに

横浜支部 Yokohama Branch



横浜支部は支部創立から33年経ちました。

数人が中心になり立ち上げた支部が、現在会員数654名になりました。会員数を増やしたということが、私たちの活動の輪を広げたということになります。会員数の多さがその会の力を表します。黙っていても会員数は増えません。私たちの活動を本当に理解して頂けなくては、人会はもちろん毎年継続してもらえません。

支部の中心の求心力は月1回の「新しい飼い主探しの会」です。現在では「新しい飼い主探しの会」に出す犬・猫の数より、ボランティアさんの人数の方が数倍多くなりました。このボランティアさんたちに毎回、会終了後テーマを決めてのレクチャーを行っております。

これからも、和を大切にゆっくり休まず活動して行くつもりです。

(副支部長 森田トヨ子)



- 4/15 新しい飼い主探しの会(犬0頭・猫5頭) ボランティア23名
- 4/22 「猫と人の共生に伴う地域住民との話し合い」 旭区光が丘ケアプラザ(兵藤・森田)
- 5/20 新しい飼い主探しの会(犬2頭・猫2頭) ボランティア22名
- 5/24 NPO法人 神奈川アニマルボランティアの会理事会 神奈川サポートセンター 14時~16時(兵藤・森田)
- 6/9 本部総会(兵藤・平井・園山・森田)
- 6/14 NPO法人 神奈川アニマルボランティアの会総会 神奈川サポートセンター 14時~(兵藤・森田)
- 6/17 新しい飼い主探しの会(犬2頭・猫6頭) ボランティア22名
- 7/12 NPO法人 神奈川アニマルボランティアの会理事会 神奈川サポートセンター 14時~(兵藤・森田)
- 7/15 新しい飼い主探しの会(犬0頭・猫2頭) ボランティア11名
- 8/16 「アメリカのシェルター事情」講演 笹部圭以氏 神奈川区役所(兵藤・森田)
- 8/19 新しい飼い主探しの会(犬0頭・猫4頭) ボランティア18名
- 9/8 NPO法人 神奈川アニマルボランティアの会理事会 神奈川サポートセンター 14時~(兵藤・森田)
- 9/16 新しい飼い主探しの会(犬1頭・猫2頭) ボランティア18名
- 9/23 動物愛護週間中央行事 シンポジウム(兵藤・平井・瀬川・森田)
- 10/21 新しい飼い主探しの会(猫4頭・兎1羽) ボランティア23名 日本大学獣医学部の研究発表見学(瀬川・森田)
- 11/18 新しい飼い主探しの会(犬0頭・猫4頭) ボランティア17名
- 11/22 平成19年度第2回「人と動物との共生推進よこはま協議会」 横浜市中区住吉町松村ビル 14時~(兵藤・森田)
- 11/29 NPO法人 神奈川アニマルボランティアの会 平塚動物保護センター見学(平井・笹部・森田)
- 12/6 NPO法人 神奈川アニマルボランティアの会 市会議員と意見交換(兵藤・森田)
- 12/16 新しい飼い主探しの会(犬2頭・猫4頭) ボランティア20名
- 1/20 新しい飼い主探しの会(犬2頭・猫2頭) ボランティア13名
- 1/21 横浜市動物愛護推進員の委嘱式 横浜開港記念会館(支部より10名出席)
- 2/17 新しい飼い主探しの会(犬0頭・猫0頭) ボランティア21名
- 2/27 NPO法人 神奈川アニマルボランティアの会で、動物虐待をしていると思われるTと言う人物へ横浜南警察に事情を聞きに行く(兵藤・森田)

- 3/9 市民フォーラム「イヌとネコとあなたの幸せのために」 講師 森祐司先生
- 3/16 新しい飼い主探しの会(犬0頭・猫2頭) ボランティア18名
- 3/22 本部慈善ピンゴ会(支部より10名出席)
- 3/27 NPO法人神奈川アニマルボランティアの会 「動物愛護と管理」講演会 講師 兵藤哲夫先生 神奈川サポートセンター 14時~16時(兵藤・森田)

不妊・去勢手術助成金支給頭数

犬	メス	7	猫	メス	151
	オス	10		オス	82
犬計		17	猫計		233

犬・猫合計 250

新しい飼い主探し実績

犬	9
猫	37
兎	1
合計	47

電話相談=年間1,095件 1日平均3~4件

◎相談内容

1. 飼っていた(犬・猫)の引き取り依頼
 - ペット不可の住宅に引っ越す
 - 飼い主の死亡又は入院
 - 飼い主の出産
 - 多頭飼育していて、注意を受けた
2. 猫が庭や物置で赤ちゃんを産んだ
3. 飼い犬の問題行動 等

相模支部 Sagami Branch



1. 毎月第3日曜日に横浜支部と合同で新しい飼い主を探す会を開催し、不妊・去勢手術の大切さと適正飼育の重要性についてアピールを行いました。又、学生ボランティアに対して動物愛護についてのレクチャーを毎回行いました。

2. 3月に倒産した、相模原市のペットショップ兼ブリーダーで飼育されていた39頭の犬が一時行き場を失った事件で、行政からの情報収集を行うと共に、本部への情報伝達を行いました。

3. 野良猫（飼い主のいない猫）の不妊・去勢手術について毎年春になると「子猫が生まれてしまった。どうしましょう！助けて下さい」という相談を数件受けます。

子猫達に新しい飼い主を見つける事は、労力、時間、費用の点で、とても大変なことです。全ての猫に飼い主が決まることは限りません。野良猫に餌を与えている人には、高齢の人、一人暮らしの人が多くいるように思います。

不妊・去勢手術が大切と理解していても、猫をつかまえない、動物病院まで運べない、費用の負担が大きい等でなかなか実行出来ない。そのうちに子猫が生まれてしまう。こんな事のくり返しが続きます。早く誰かが気付いて、手伝ってあげないと短期間で野良の群れが出来てしまいます。近所の人達にも猫を保護して、不妊・去勢手術をして、又元の場所に返す事を理解してもらわなければなりません。

猫の不妊・去勢手術が徹底出来ている地域では、野良猫でも十分に餌を与えられ、ゆったり、のんびり幸せそうに暮らしています。

そんな理想郷を夢見ながら、日々の活動をしている私達です。

4. 不妊・去勢手術助成金支給頭数 (犬・猫合計22)

犬	メス	1	猫	メス	16
	オス	0		オス	5
犬計		1	猫計		21

(支部長 佐藤洋文)

南大阪支部 Minami-Osaka Branch



◎行政との対応

① 府動物愛護推進協議会及びシンポジウムに出席 ② 府動物愛護管理推進計画検討委員会に出席 ③ 大阪市動物愛護推進協議会に出席 ④ 堺市動物愛護フェアに参加 ⑤ 猫虐待通報に依る堺北署、堺市動物指導センター訪問、調査依頼 ⑥ 処分された犬、猫、アライグマの慰霊祭に参列 ⑦ 府庁にて公明党議員と面談 ⑧ 府庁にて動物愛護グループに申し入れと会談 ⑨ 松野頼久衆議院議員・上の和明府議会議員に同行し犬管理指導所見学 ⑩ プルセラ症感染犬の現地での世話。譲渡会及び事前の家庭訪問 ⑪ 警察生活安全課と遺棄ポスターの件で交渉。

◎広報活動

① 恒例の中之島まつりで動物虐待防止キャンペーン、バザー、募金活動を実施 ② 「高槻動物愛護を推進する会」主催講演

会及びフェスティバル参加、パネル展実施 ③ 「猫大量詐欺事件」裁判傍聴 ④ 本部総会 ⑤ 南大阪支部活動者会議 ⑥ 松野頼久氏セミナー（吹田市）参加。

◎電話相談＝180件

引き取り依頼、新しい飼い主探し、助成金及び手術の相談、猫用捕獲箱貸出し依頼など相談の内容は相変わらずですが、途中で飼養放棄する人が年々増加しているように思います。

◎不妊・去勢手術助成金支給頭数 (犬・猫合計412)

犬	メス	33	猫	メス	238
	オス	18		オス	123
犬計		51	猫計		361

◎犬・猫の新しい飼い主探し実績 (犬・猫合計78)

犬	成犬	27	猫	成猫	3
	子犬	9		子猫	39
犬計		36	猫計		42

(支部長 山移千鶴)

阪神支部 Hanshin Branch



◎行政との対応

かねてから阪神支部が中心になって兵庫県に働きかけてきた兵庫県動物愛護センターが平成10年に開設されて以来、引き続き平成18年は龍野支所が、又平成19年は新たに4月に三木支所が、10月に淡路支所が開設されましたことは阪神支部に大変有意義な年でした。

どちらも広大な敷地に、しつけ教室、講習会等のための多目的室、検査室、手術室、処置室の設備を備え、譲渡犬室は日当たり、風通しも考慮された、まさに動物福祉の拠点として申し分のないセンターであると感じました。

この場を拠点として、兵庫県が動物福祉の活動にますますご尽力下さいますことを期待しております。

なお、阪神支部を代表して4名が招待され、全館を見学させて頂き意見の交換をさせて頂きました。(小寺弘子)



兵庫県動物愛護センター三木支所

東播磨、北播磨エリアの犬・猫などの動物愛護や管理に関する業務を実施



兵庫県動物愛護センター淡路支所

淡路エリアの犬・猫などの動物愛護や管理に関する業務を実施

◎地域猫に関する活動報告

全国的にホームレス猫のことが問題になっています。動物（特に猫）との共生をめざして、阪神支部では地域猫にたずさわる会員の交流を活発に行ってきました。

- 従来からの中藤会を中心に、今年度は
 - 地域猫保護プロジェクト@神戸（神戸市兵庫区）
 - ひだまりメイト（宝塚市、西宮市）
 - ねこクラブたま（神戸市西区）
- の3つのグループの立ち上げに協力してきました。

それぞれ大変な苦勞のもと、不妊・去勢手術と新しい飼い主さん探しに、日夜努力しています。



そして表1の如く、総数で1,748匹の不妊・去勢手術を実施することが出来ました。これもひとえに本部助成金制度と皆様からのご寄付、支部会員のバザー・セール売上げのおかげと、阪神支部会員一同感謝しております。

特に中藤会では、昨年度にもまして1,054匹に不妊・去勢手術を実施し、83匹に新しい飼い主さんを見つけることが出来ました。

表1：平成19年度不妊・去勢手術助成金支給頭数

犬	メス	犬	オス	猫	メス	猫	オス	合計
28		18		1076		626		1748

表2：譲渡頭数

	犬	猫	合計
	25	99	124

(河合慶子)

◎バザー・セールについての報告

本年度の活動も多くの方々の善意と犠牲に支えられ、不妊・去勢手術の助成金のため会員一同努力して参りました。

三年前に事務所が宇治川商店街に移転され、事務所前で物品の販売が出来るようになり、大変嬉しく思っております。

エコロジー時代と言われる昨今、各家庭で余剰になったり不要となった物を、必要とされるご家庭で再利用して頂き、その利益を不妊・去勢手術の助成金として活用させて頂くことは大変有意義なことと思います。不妊・去勢手術の大切さ、その資金の大切さのため、日夜努力している次第です。

宇治川セール	22回
神戸倶楽部バザー	1回
しあわせの村バザー	1回
計	24回

●純利益 618,766円
純利益をすべて阪神支部不妊・去勢手術基金に入金しております。(香西美重子)

徳島支部

Tokushima Branch



◎不妊・去勢手術実績

①助成金支給実績

犬	メス	32	猫	メス	118
	オス	19		オス	82
犬計		51	猫計		200

犬・猫合計 251

②「めぐまれない犬や猫をいかに減少させられるか」を話し合うため、個人活動家と4回の会合を持ちました。県・市等公共機関への働きかけ、新しい飼い主探し、保護施設開設等について話し合いました。

また、昨年に引き続き不妊・去勢手術料を、不妊手術1万円（妊娠・非妊娠にかかわらず）、去勢手術5千円でを行いました。

◎動物愛護週間行事

動物愛護週間中の行事として、協力病院において動物の健康診断を行いました。

また、支部会員4名、犬2頭、猫2頭とともに老人施設を訪問し、交流を持ちました。

◎新しい飼い主探し

不妊・去勢手術活動と並行して新しい飼い主探しを行った結果、犬12頭、猫19頭が新しい飼い主に引き取られました。

◎学校飼育動物

本年度も学校飼育動物の治療・予防接種等を実施すると共に、飼育者への指導・相談を行いました。

(副支部長 伊月高志)

三重連絡所

Mie Liaison Office



徳島動物福祉協会本部の主旨に賛同、昭和49年動物保護管理法施行と同時に、生命の尊重、繁殖制限、飼い主の責任と終生飼養を提唱し今日に至っております。

これからも変わることなく活動を続けます。

(連絡所長 山口順子)

Ⅶ 財務状況

◎財産の状況

(単位：千円)

	19年度	18年度
現預金	55,559	39,547
貯蔵品	877	854
動物救護基金	28,600	13,440
その他流動資産	1,901	10,805
固定資産	6,500	11,500
災害対策基金	5,000	10,000
その他	1,500	1,500
資産合計	93,437	76,146
負債合計	26,580	18,896
正味財産	66,857	57,250

当年度は大規模災害の初期活動資金としての必要額を災害対策基金として再設定したが、一方で、前年度事業実績を踏まえ、特定地域で発生する緊急救護案件に迅速に対応するための動物救護基金を大幅に積み増した。

◎収支の状況

(単位：千円)

	19年度	18年度
前期繰越額	57,250	57,899
会費収入	8,262	8,344
募金収入	12,962	12,380
寄付金収入	79,242	36,212
その他収入	2,849	10,735
当期収入合計	103,315	67,671
動物福祉事業費	63,364	32,539
一般経費	19,742	15,464
事業経費	43,622	17,075
管理費	12,746	16,166
募金等関連経費	17,599	19,615
当期支出合計	93,709	68,320
次期繰越額	66,856	57,250

当年度は会費収入、募金収入とも前年度並であったが、超大口のご遺贈があったこと等により寄付金収入は倍以上となった。

事業費は特定地域で発生する緊急救護案件の発生、官民共同シェルターへの参画、及び当年度から事務所費等の共通的费用の配分を始めたこと等があり、大幅に増加している。

一方で共通的费用の配分を行なったこともあり、管理費は減少した。

◎平成20年度予算

(単位：千円)

前期繰越額	66,856
会費収入	9,800
募金収入	14,000
寄付金収入	38,200
その他収入	200
当期収入合計	62,200
動物福祉事業費	56,800
一般経費	22,000
事業経費	34,800
管理費	15,500
募金等関連経費	13,200
当期支出合計	85,500
次期繰越額	43,556

平成20年度予算は前年度実績を踏まえて年度事業方針を実現すべく編成した。但し、前年度にあったような超大口のご遺贈等は予算化できないため、現状では2,300万円強の支出超過となっている。

今後における事業基盤の強化・拡大のためには会員増を含め、より一層財務基盤の拡充・強化を図る必要がある。

社団法人日本動物福祉協会では、

「JAWSの動物福祉活動をもっともっと多くの方々に
応援してほしい、そして私たちの日本を「いのちのあ
るものをいつくしむ」やさしい思いやりの国にしたい」

そんな願いを込めて皆様と共に
一層元気に活動を続けていきたいと思っております。

皆様の温かいご支援は私たちを更に勇気づけます。
今後も変わらぬご支援とご協力を
宜しくお願い申し上げます。

ひとつでも多くの命を救うために！



“Happy Face of the Year”

～すべての生きものに尊厳を～

アルバート・シュヴァイツァー

Japan Animal Welfare Society

〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-8 中村屋ビル内
電話(03)5740-8856 ファックス(03)5496-0930
ホームページ <http://www.jaws.or.jp>